

平成 23 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 シンワオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 橋本 幸延
(コード番号 2654 大証第二部)
問合せ先 管理本部本部長 本多 宏毅
(TEL. 06-6683-3101)

平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正、特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 12 日に公表いたしました通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）における業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、平成 23 年 3 月期第 3 四半期会計期間において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）業績予想の修正

(1) 連結

(単位：百万円，%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,893	361	78	△85	△57 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8,337	257	△29	1,790	12 円 10 銭
増 減 額 (B-A)	△556	△104	△107	1,875	
増 減 率 (%)	△6.3	△28.8	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	13,680	△785	△1,144	△2,906	△19 円 20 銭

(2) 個別

(単位：百万円，%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,963	428	251	167	1 円 10 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,058	427	224	1,727	11 円 68 銭
増 減 額 (B-A)	95	△1	△27	1,560	
増 減 率 (%)	1.6	0.2	△10.8	934.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	11,637	△558	△904	△2,895	△19 円 13 銭

2. 修正の理由

(1) 連結通期における業績予想の修正について

平成23年3月期第3四半期実績、及び下記理由により修正するものであります。

(イ) 売上高及び営業利益並びに経常利益の修正理由

平成22年12月21日付「子会社異動(株式譲渡)に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり堂島ホテル株式会社の全株式を譲渡したことにより、第4四半期より連結対象子会社でなくなったことによるものであります。なお、平成23年3月期第3四半期実績における営業外費用において、株式会社ベストライフ及び株式会社 Persons Bridge からの借入金利息約15百万円を予算計上していなかったため当初予想と差異が発生しております。

(ロ) 当期純利益の修正理由

平成22年12月21日付「子会社異動(株式譲渡)に関するお知らせ」及び平成23年2月7日付「特別利益の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり堂島ホテル株式会社の全株式を譲渡したことによる子会社株式売却益として20億2百万円の特別利益を計上することによるもの、また、特別損失といたしまして、固定資産除却損として外食店舗撤退に伴うもの11百万円、ソフトウェアにかかるもの2百万円、店舗整理損として外食店舗撤退に伴うもの1百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額として外食店舗撤退に伴うもの10百万円、減損損失として外食事業にかかるもの8百万円、遊休不動産にかかるもの3百万円の計37百万円を計上するものによる影響により修正するものであります。

(ハ) 連結通期業績予想

上記(イ)及び(ロ)の理由により、売上高83億37百万円、営業利益2億57百万円、経常利益△29百万円、当期純利益17億90百万円に修正するものであります。

(2) 個別通期における業績予想の修正について

平成23年3月期第3四半期実績、及び下記理由により修正するものであります。

(イ) 売上高及び営業利益並びに経常利益の修正理由

平成23年3月期第3四半期実績を受け修正するものであります。なお、平成23年3月期第3四半期における営業外費用において、株式会社ベストライフ及び株式会社 Persons Bridge からの借入金利息約15百万円を予算計上していなかったため当初予想と差異が発生しております。

(ロ) 当期純利益の修正理由

上記「2. 修正の理由 (1) 連結通期における業績予想の修正について (ロ) 当期純利益の修正理由」と同様、堂島ホテル株式会社の全株式を譲渡したことによる子会社株式売却益として16億56百万円の特別利益を計上することによるもの、また、特別損失といたしまして、ソフトウェアにかかる固定資産除却損2百万円、遊休不動産にかかる減損損失71百万円の計74百万円を計上するものによる影響により修正するものであります。

(ハ) 個別通期業績予想

上記(イ)及び(ロ)の理由により、売上高60億58百万円、営業利益4億27百万円、経常利益2億24百万円、当期純利益17億27百万円に修正するものであります。

3. 特別利益の計上について

(1) 連結

特別利益といたしまして、100%出資子会社である堂島ホテル株式会社の全株式を譲渡したことによる子会社株式売却益20億2百万円を計上するものであります。

(2) 個別

特別利益といたしまして、100%出資子会社である堂島ホテル株式会社の全株式を譲渡したことによる子会社株式売却益16億56百万円を計上するものであります。

4. 特別損失の計上について

(1) 連結

特別損失といたしまして、固定資産除却損として外食店舗撤退に伴うもの11百万円、ソフトウェアにかかるもの2百万円、店舗整理損として外食店舗撤退に伴うもの1百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額として外食店舗撤退に伴うもの10百万円、減損損失として外食事業にかかるもの8百万円、遊休不動産にかかるもの3百万円の計37百万円を計上するものであります。

(2) 個別

特別損失といたしまして、ソフトウェアにかかる固定資産除却損2百万円、遊休不動産にかかる減損損失71百万円の計74百万円を計上するものであります。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以 上